

## 带状疱疹ワクチンが定期接種になります

4 月から带状疱疹ワクチンが高齢者の定期接種にはいります。ワクチンそのものは 50 歳からうてますが、定期接種として補助が出るのは 65 歳からです。

带状疱疹は、皮膚に水疱状の痛みをともなう皮疹がでて、運が悪いと皮膚はよくなっても強い神経痛をのこしてしまう厄介な病気です。原因は小さいころにかかった水ぼうそう（水痘）のウイルスの再活性化です。水痘ウイルスは不思議なウイルスで、水ぼうそうがよくなって免疫ができて、やっつけられずに脊髄の神経の中に何年も隠れていて、免疫や体力が落ちたときに暴れだします。この時は好物の神経にそって活動し、皮膚まで達すると皮疹がでると、神経を刺激するのでビリビリした痛みがでます。はじめは痛みだけのこともあり、典型的な皮疹がないと専門医でも診断に苦慮することがあります。診断がつけば、まずは抗ウイルス薬をつかって、あとは痛みの治療ですが、きっちり治療しても神経痛が残ってしまう方がおられます。一応私も専門の麻酔ペインクリニック医ですので薬のほか、ブロック治療などもしたりしますが、よくならず、何年もつらい思いをされる方もあります。



带状疱疹ワクチンには、水痘ウイルスに対してのワクチンで、免疫を強化することで、ウイルスの再活性化を防ぐ作戦です。ワクチンには 2 種類あり、一つは、子供さんに打っている水ぼうそうのワクチンをそのまま使います。もう一つは带状疱疹予防用に開発されたワクチン（シングリックス）です。

水痘ワクチンのほうは、生ワクチンで、接種は一回で済み、お値段も安いです。（それでも自費なら 7100 円、補助がでて 4430 円はしますが）一方で効き目は 70% くらいで 5 年くらい有効といわれています。また生ワクチンなので、軽く水ぼうそうの症状がでたり、免疫不全の方にはお勧めできません。

シングリックスのほうは、有効率が 90% 以上、効果も 10 年はもつとされていますが、不活化ワクチンですので、2 回接種が必要で、お値段が補助がでて一回 11030 円（自費なら 20500 円）とお高いのが難点です。

基本若い方には長く効く、シングリックスをお勧めしますが、懐具合と手間を考えて、選択されてください。また、すでに带状疱疹に一度かかった方はどうするかですが、確率はさがるものの带状疱疹の 2 度罹りはありますから、接種をする価値はあります。で、打つなら带状疱疹にかかってどれくらいあけたらいいのかは、異論がありますが、私は一年くらいはみていいのかなあとと思います。

### 4 種混合ワクチン（テトラビック）

子供さんの 4 種混合ワクチン（百日咳+ジフテリア+破傷風+ポリオ）が今年 7 月ごろに発売停止になり、ヒブの入った 5 種混合だけになります。ただ、今まで 4 種混合で打ってきた方は、先にヒブの 4 回目打ってしまうと、5 混ではヒブが 5 回目で過剰になるので、4 混の 4 回目を早めに打つか、ヒブの 4 回目は打たないで 5 混で接種するかになります